

ユニバーサル・デザインの考え方に基づいた製品デザインの提案 および ユーザーリサーチ、評価手法の提供

このテーマのキーワード	ユニバーサル・デザイン、プロダクト・デザイン、工業デザイン、人間中心設計
関連するSDGs開発目標	   

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

2020年現在、日本の高齢化率は28.7%と「超高齢社会」を迎えています。そのため、年齢や性別、障害の有無や身体的特徴に関わらず、あらゆる人の使用を前提とした「ユニバーサル・デザイン」の考え方に基づいて製品や環境を開発する事が、「1億総活躍社会」の実現の為に不可欠です。

また、日本に続いてEU各国や中国、韓国、シンガポール等も急速に高齢化が進行しており、「超高齢社会のためのものづくり」ノウハウは国際的なビジネスチャンスに繋がります。

(概要)

本研究室では、ユニバーサル・デザインの思想に基づいた製品デザインの提案、およびユーザーリサーチ、評価指標など、デザイン開発手法の提供を行っています。

(期待される効果)

B to C 製品の開発においては、より多様なユーザーにPRし市場を拡げる効果を、B to B 製品の開発においては、多様なユーザーの使用を前提として、安全で使いやすい製品を開発する効果が期待できます。



ユーザビリティテストの様子



開発した製品デザインの例(食器)

想定される適用分野・用途・業界

- B to C : 日用品、家電製品、雑貨、パッケージ等の新規デザイン開発、改良
- B to B : 産業機械等の安全性、ユーザビリティ向上の為にデザイン改良

産業界へのアピールポイント

- 貴社のニーズに合わせて、学生を交えたコンセプト提案から、より具体的なプロトタイピング、モデリングまでのデザイン制作が可能です。

総合機械学科 町田 由徳 准教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880